

2025年7月7日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 柴田 裕希

インド国ベンガルール・メトロ建設事業（フェーズ3）
（協力準備調査（有償））
スコーピング案に対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2025年6月16日(月) 14:00～18:24
- ・場所：JICA 本部（2階 202会議室）及びオンライン
- ・ワーキンググループ委員：石田委員、重田委員、柴田委員、林委員、原嶋委員
- ・議題：インド国ベンガルール・メトロ建設事業（フェーズ3）（協力準備調査（有償））に係るスコーピング案についての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) 【事前配布資料】インド国ベンガルール・メトロ建設事業（協力準備調査（有償））SC案
 - 2) 回答表及び参考資料
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2022年1月）

全体会合（第170回委員会）

- ・日時：2025年7月7日(月) 13:59～16:43
- ・場所：JICA 本部（2階 202会議室）及びオンライン

上記の会合にて助言を確定した。

助言

代替案検討

1. 代替案検討については、代替案の評価項目の分類の選定、当該分類のサブ項目の選定方法及び重みづけによって評価結果が左右される。このため、サブ項目間の重複の除去、評価する項目の選定理由の明確化（特に、自然環境及び生活環境への影響について）等に留意し、代替案検討を整理し直すとともに、評価の根拠を明確にした上で、その結果を DFR に記述すること。

スコーピングマトリクス

2. 本事業のダブルデッキ高架橋からの排水（雨水を含む）の処理方策を把握したうえで、ヘッバル湖、ロバリ湖、ナガバラ湖などの排水先への影響評価を行い、その結果を DFR に記述すること。
3. ダブルデッキ高架橋の耐震性を検証し、その結果を DFR に記述すること。
4. 工事中/供用時の新規雇用の可能性について、技術職/非技術職のポジションを特定し、男女の割合について確認した上で、その結果を DFR に記述すること。

環境配慮

5. 事業対象地域及び対象地域外（特に下流域）において、水利権を含む農業分野の水利用について影響評価を行い、その結果を DFR に記述すること。
6. 絶滅危惧種のリストには都市圏において生育・生息している種が存在する可能性がある。生態系の調査結果を踏まえ、必要に応じて緩和策の検討を行うこと。

社会配慮

7. 被影響者の雇用対策やコミュニティへの還元について検討を行い、その結果を DFR に記述すること。

以 上